



2015年11月5日

報道機関関係者 各位

尚綱学院高等学校

奉仕の日「ココロン・カフェ in SHOKEI」 について

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

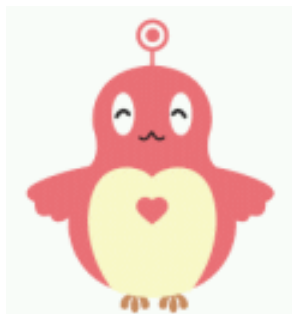
さて、本校では「社会とのつながりを意識し、他社とともに生きる姿勢を育む」ことを教育活動の柱と位置づけ、以前より「奉仕の日」を定め、様々な奉仕行事を行ってまいりました。本年度は、来る11月12日（木）に高校1学年の「総合的な学習の時間」を使い、仙台市のご協力のもと「ココロン・カフェ in SHOKEI ～障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるカフェ」を開催いたします。

ココロン・カフェとは、仙台市が、平成28年4月の施行を目指している障害を理由とする差別を解消するための条例の検討にあたり、障害の有無に関わらず広く市民や事業者が参加し、障害のある人とない人が知り合い、理解を深め、意見を交換する場として始めた事業です。今回は仙台市健康福祉局健康福祉部障害企画課様のご協力のもと、尚綱学院高等学校を舞台に開催する運びとなりました。

お忙しい時期とは存じますが、生徒たちが障害を持つ方たちとつながり、差別とその解消について学び、考える姿を是非取材頂き、報道下さいますよう宜しくお願いします。

参考：仙台市障害企画課「ココロン・カフェ」のページ

http://www.city.sendai.jp/fukushi/shogai/barrierfree/1215357_1717.html



尚綱学院高等学校
担当教員／白津 祈恵子
電話／022-264-5881

<ココロン・カフェ in SHOKEI 企画内容>

- 日 時：2015年11月12日（木） 6～7限（14:00～15:40）
 - 会 場：尚綱学院高等学校 食堂スペース
 - 目 的：生徒の、障害や障害者に対する理解を促進する
 - 企画テーマ：学年「社会とのつながりを意識する」「他社と共に生きる姿勢を育む」
クラス「障害と共に生きる人たちと関わり、差別の解消について考える」
 - 話し合いのテーマ：「一緒に考えよう！障害による差別解消に向けて私ができること」
障害による差別を解消し、仙台を誰もが暮らしやすいまちにするために、
自分の所属や立場でできることを話し合う。
I) 障害を持つ人は、どんな暮らしづらさを感じているのか？
II) それぞれの立場でできることは何か？
 - ク ラ ス：1年1組、1年6組
 - 参加予定者：誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台連絡協議会
- | | |
|----------------|---------------|
| | 代表 杉山 裕信 様 |
| C I Lたすけっと | 和山 栄輔 様 |
| ありのまま舎 | 及川 智 様 |
| 宮城県鍼灸マッサージ師会 | 常務理事 小池 トキ子 様 |
| 仙台市聴覚障害者協会 | 会長 松本 克之 様 |
| 仙台市聴覚障害者協会 | 副会長 熊谷 詔二 様 |
| 仙台市聴覚障害者協会 | 菅原 伸哉 様 |
| 認定NPO法人ビートスイッチ | 古川 真由美 様 |
| 全国膠原病友の会宮城県支部 | 運営委員 千葉 照之 様 |
| ここねっとデイ | 柳 広樹 様 |

<これまでの活動>

- 9月 障害者差別解消法について学習、アンケート調査
- 10月 障害者施設について学習（訪問準備）
- 10月 啓佑学園訪問

<これからの活動予定>

- 11月 5日（木） 6～7限 ありのまま舎訪問（1年1組）
- 11月 6日（金） 6～7限 ポッケの森訪問（1年6組）
- 11月12日（木） 6～7限 ココロン・カフェ in SHOKEI
- 11月～ 報告会準備
- 2月（予定） 報告会